

## 《 令和 3 年度 研修報告 》

### ☆ 第 1 回 研修会

#### 《管理者研修》

日時： 令和 3 年 5 月 22 日（土） 14 : 00 ~ 16 : 30

場所： WEB 研修（参加者 94 名）

テーマ：「2021 年の報酬改定の内容とポイント」

講師： 萩原 正子 先生 一般社団法人オフィス萩原 代表理事

内容： 感染対策・災害対策 BCP の考え方や作成について、ハラスメント対策の強化、ICT の活用、報酬の改定などわかりやすく説明していただき  
今後のステーションの取り組みに役立つ講義でした。

### ☆ 第 2 回 研修会

日時： 令和 3 年 11 月 20 日（土） 13 : 30 ~ 16 : 00

場所： WEB 研修（参加者 58 名）

テーマ：『認知症の理解を深め訪問看護師としての役割を考える』

講師： 札幌医科大学保険医療学部看護学科 木島 輝美 先生

北海道若年性認知症の人と家族の会 平野 憲子 先生

内容： 認知症の方の意思決定を助けるには、人的・物的環境整備、意思形成支援、表明支援、  
実現支援を整え、本人の能力を最大限に生かし、本人の言葉で思いを引き出すことが  
大事であること。偏見を持たず、共に生きる希望を持つことの重要性を痛感しました。  
また若年性認知症の特徴、困難性、家族会の支援について、深く知ることができまし  
た。若くして発症し起こる弊害、家族の負担、そんな中で家族会としてかかわる重要性、  
訪問看護師の役割など、制度やサービスの提案など、関係機関がみんなで支えあう場にな  
れるよう、今後も励みたいと思いました。

### ☆ 第 3 回 研修会

日時： 令和 4 年 3 月 11 日（金） 18 : 30 ~ 20 : 00

場所： WEB 研修（参加者 43 名）

テーマ：『ハラスメントを予防し働きやすい環境をつくろう』

講師： 社会保険労務士事務所テラス 倉 雅彦 先生

内容： 管理者の責務としてハラスメントを理解し研修を実施する事は、職場環境をより  
良くする為のもので、一緒に働く仲間を大切にし、理解する事は、お互いの違いを  
認め合い受容と共感を生む。

『組織は人づくりから労務トラブルは「対処」から「予防」へ』と初めに倉先生が  
お話して下さった予防の大切さを実感した研修会でした。

第 24 号

発行 令和 4 年 4 月 26 日

# 会 報

## 札幌訪問看護ステーション協議会

発行者 木浪 江里子

訪問看護ステーション ピンポンハート

札幌市手稲区曙 5 条 2 丁目 7-30 あげぼのコートハウス 1 階



## 《ご挨拶》 札幌訪問看護ステーション協議会 会長 木浪 江里子

日頃より会員の皆様には札幌訪問看護ステーション協議会の活動、運営にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

今年の冬は札幌でも記録的大雪となり、毎日が体力と気力の限界寸前だったのではないのでしょうか？待っていてくれる利用者さんの笑顔を思い浮かべながら、或いは体調の優れない方を心配しながら、毎日訪問を続ける事が出来ました。本当によく頑張りました。

新型コロナウイルス感染症が流行し2年経過しました。

2021年は札幌市内感染者数の増加に伴い、入院ベッドのひっ迫により自宅療養者への点滴を主とした訪問看護の要請がありました。

「COVID19 JMAT」が結成され、当協議会は札幌市、保健所、医師会との相談を行い参加できる訪問看護師の取りまとめを行い、現在もこのチームは進行形です。

コロナは感染の縮小、変異、拡大を繰り返し、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令されるなど、まだまだ予断を許さない状況であります。

この間、陽性者の隔離期間が短縮され、濃厚接触者の定義も変わりました。

3密を避けるため、訪問看護の業務内容が変わった事業所が多いのではないのでしょうか？

直行直帰を導入した事業所が多く見受けられました。

リモートなどによりコミュニケーションのあり方も変わり、人間関係が希薄になりがちで孤独や孤立、相談する場がなく不安を感じ、精神的ストレスを抱えてしまう等の課題が浮き彫りになりました。一方、オンラインでのカンファレンスや、研修の導入などICT化が目覚ましく発展したと思います。殆どの看護師はITには苦手意識があり、実際経験が少なかったと思いますが、否応なしに向き合うことになりました。今後は、更にLIFEやオンライン請求など次々と進んでいきます。

コロナの影響で売上の減少など経営状況悪化が懸念されていますが、4月には診療報酬改定があり、同一建物への訪問に関しては減算でしたが、機能強化型算定要件が追加になり、退院日の訪問看護が見直され、若干のプラス改定になりました。

中でもBCP策定の義務化については3年の猶予があるとはいえ地域の連携が必須と考えられます。

「感染症や災害への対応力強化」が目的ですが、まずは近隣にある訪問看護ステーション間での協力関係が構築できるよう、一緒に考え努力していきませんか？

その上で更に行政や多職種との協働出来る体制づくりが出来るように働きかけていく事が必要です。そのためにも、6月にBCPに関する研修を企画致しました。研修の後には管理者交流会も企画しています。出来れば、会場で直接お会いして情報交換や意見交換を行いたいところですが、まだまだ感染者数が多く落ち着かない状況を踏まえるとWEB開催となりそうです。

昨今、病院の入院期間の短縮やコロナ感染症の影響で在宅療養を選択、自宅での看取りが増えてきています。また医療的ケア児支援法の施行もあり、今まで以上に幅広い知識、技術などスキルの向上が必要です。会員の皆様に役立つような研修の企画・運営、また気軽に相談できる会として、訪問看護発展の一助となるよう役員一同頑張っていきたいと思っております。

皆様のご協力をよろしくお願い致します。

## 《総会・研修会のご案内》

### ➤ 総会

日時 令和4年6月4日(土) 13:15~13:45  
(13:00~ 入室受付開始)

会場 WEB研修 (ZOOM)

\*委任状を同封しています。当日欠席の方は担当区  
の役員へFAXにてご提出をお願いいたします。

### ➤ 管理者研修会

日時 令和4年6月4日(総会終了後、引き続き研修会)  
13:50~16:30

会場 WEB研修 (ZOOM)

講師

◇ 長島 康人 先生

札幌市保健福祉局総務部総務課 地域福祉推進係長

テーマ『災害発生時の地域での支え合い 要配慮者避難支援』

◇ 佐藤 純 先生

ケアプロ訪問看護ステーション東京 在宅ケア防災研究会代表

テーマ『災害時のBCP~地域の連携強化を考える』

\* 講演聴講後、質疑応答、ブレイクアウトルームにて区ごとの  
グループディスカッションを予定しております。

総会、研修会への参加はQRコードを読み込み、申し込みをしてください。



<https://forms.gle/sjvXEjs5ry9XNpBp7>



札幌訪問看護ステーション協議会 ホームページ